



Creating
A Sustainable Society
Since 1946

2022 サステナビリティ レポート



株式会社 斎藤英次商店

SAITOH EIJI SHOHTEN



目次	… 01
編集方針	… 02
ミッション・ビジョン	… 03
トップメッセージ	… 04
斎藤英次商店ヒストリー	… 05/06
財務・非財務情報ハイライト	… 07/08

第1章:特集 -CO₂削減-

CO ₂ 削減に向けた取り組み	… 09
開発方針	… 10
サステナビリティの全体像	… 11/12
コラム1:ちばスクール	… 13

第2章:環境

環境マネジメント	… 15/16
環境活動の目標	… 17
今年の実績	… 18
CO ₂ ・廃棄物の排出削減	… 19/20
環境に向けた取り組み	… 21
マテリアルフロー	… 22
ハコメル・ダイレクト:ゼロ	… 23/24
コラム2:古紙ゆたか	… 25

第3章:社会

社会活動の目標	… 27
今年の実績	… 28
人権の尊重	… 29/30
人材の育成	… 31/32
品質保証	… 33
サプライチェーン・マネジメント	… 34
安全衛生の確保	… 35/36
5S活動への取り組み	… 37

第4章:ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	… 39
リスクマネジメント	… 40
顧客の声	… 41

第5章:地域

かしわ環境ステーションへの参加	… 43
環境教育 - ecoアカデミー -	… 44
工場見学の実施	… 45
ゴミゼロに向けた取り組み	… 46
会社概要	… 47
編集後記	… 48

■ 編集方針

本レポートは、当社のブランドビジョンで掲げている「知性とセンスで環境問題を解決へと導く『スマートなリサイクルカンパニー』」として、ステークホルダーの皆様へ当社のESG活動を発信し、深く知っていただくため報告しています。今回はこれまでのレポートよりも、写真を多く配置するように構成して、読んで楽しいレポートを目指しました。また、定量的なデータも可能な限り開示するように努めています。

■ 発行時期

発行 : 2023年 2月
次回 : 2024年 2月

■ 報告範囲

対象組織 : 株式会社 斎藤英次商店
対象期間 : 2022年度 (2021.11~2022.10)

■ 参考にしたデザイン

・環境庁「環境報告ガイドライン(2018年度版)」
・ISO26000「社会的責任に関する手引き」

■ 作成部署・お問合せ先

株式会社 斎藤英次商店
マーケティング部

TEL:04-7186-6701 FAX:04-7186-6702
URL: <https://www.saito-eiji.co.jp>
E-mail: marketing@saito-eiji.co.jp

ミッション(企業理念)

物の価値と心の価値をつなぎ、
「できてよかった」の幸せで世界を豊かにします。

ブランドビジョン

知性とセンスで環境問題を解決へと導く
「スマートなりサイクルカンパニー」

行動規範

環境に対し「何かしなきゃ」というお客様の思いを、「できてよかった」に変える。
そのために、当社が出来ることは何か。



02

脱炭素社会の実現

■ カーボンニュートラルの現状と今後

日本政府はカーボンニュートラルの実現に向けて、「2030年までに温室効果ガス46%削減(2013年度比)、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことを宣言しました。

カーボンニュートラルの取り組みには二つの側面が挙げられます。一つ目は、地球環境保護の側面。温室効果ガスの排出増加により、温暖化や気候変動など我々人類にとって不都合なことが確実に起きます。それらを回避するために、地球に住む人として社会全体で出来ることに取り組もうというものです。

長期的目標が設定されるなど、カーボンニュートラルの取り組みは必須ではありますが、現時点では目標を完全に達成する具体策が無いというのが現状です。

我々の主力とする製紙原料事業では、多くの自動車(塵芥車や大型トラックなど)を使用しています。それらをエコカーに切り替えるなど対策が必要ですが、十分な能力を保持したエコカーの開発を待たねばならないのが現状です。我々に出来ることは、エコドライブなど微力ながらも目標達成に向けて可能な限り行動を続けることと、新技術が開発された際にはすぐさま導入できる会社であり続けることです。

二つ目は、商業的な側面。カーボンニュートラルに向け事業が拡大する中で、どのように世界の流れについていくか、というものです。今後起きる社会的・技術的変化を予測し、当社が事業化できるものはあるか特定。さらにリサーチを重ね、発想や思考を広げていく必要があります。

日々使うエネルギーは今も火力発電が全体の半分以上を占め、自動車のEV化も大きく進まず化石燃料のまま。カーボンニュートラル関連市場はまだ小さく、すぐ参入するのは難しい一方、新規参入の準備時間とも捉えることができます。

そして、新たにカーボンニュートラル関連事業を伸ばすためには、既存事業を存続させ安定した収益を原資としていかなければなりません。

資源不足が顕在化する中で、いかに資源リサイクルを続けるか。見通しが立たない状態でも、変化をうまく捉え先頭に立って事業を進めていきたいと思えます。

当社は、知性とセンス、75年以上培ってきたノウハウを活かし、カーボンニュートラルの実現を目指します。

代表取締役社長 斎藤大介





貧困の中から始まった古紙回収事業
逆境の中でも常に先を見据え 発展を目指す
創業から100年の歩み



再生資源業への参画

- 1925年:**
- 関東大震災を経験
 - 齋藤英次は 兄と共に
廃品回収業の見習いを開始
- 戦前・戦時下:**
- 商いは急成長を遂げる
 - 兄との間に格差が発生



地方古紙回収の先駆けへ

- 1946年:創業**
- 日暮里で齋藤英次商店 創業
- 1968年:柏に営業所開設**
- 2代目社長明久が
郊外への営業所移転を決意
 - 高度経済成長により
地方での古紙排出が活発化
→業績向上

苦難に打ち勝つ「ハングリー精神」



中小企業脱却への挑戦

- 2004年:現社長 就任**
- 家族経営=中小企業である
ことの限界を自覚
 - 環境貢献事業としての自負を
持ちさらなる成長を決意する



スマートなリサイクルカンパニー
を目指して

- 2017年:**
- 資本金・従業員規模ともに
中小企業を卒業
 - 大企業へ向けさらなる飛躍を目指す
- Future:**
- 社会の変化に応じた
先進的な事業を展開していく

時代の先を読み人のできないことに挑戦する「進取の精神」

これからも 移りゆく時代の変化に合わせ
齋藤英次商店はこの2つの精神を胸に歩み続けていく

特集

環境

社会

ガバナンス

地域

当社は「ビジョン2046」を掲げ、国が掲げる2050年カーボンニュートラルに先駆け、創業100年の節目である2046年にカーボンニュートラルを実現することを目指します。

2022年の取り組み実績

■ 2022年1月～ 拠点の再エネ調達開始

営業所8拠点・内職市場店舗1拠点の計9拠点で、電力の再エネ調達を開始。4月には、上記に1拠点追加で開始。本社を含む2拠点を除く全営業拠点で切り替え完了。

これにより、排出係数が0kg-CO₂の電力調達が可能になり、CO₂排出量のおよそ3割を占める電力使用由来のCO₂排出量大幅削減が実現できました。

■ 2022年2月～ ちばSDGsパートナーに登録

サステナビリティの取り組みを加速させ、外部発信力を強化。

■ 2022年7月～ 「ハコメル・ダイレクト:ゼロ」リリース

機密文書処理サービス輸送行程のCO₂発生をオフセットするオプションサービス開始

■ 2022年12月～ 「ちばぎんSDGsリーダーズローン」融資の受託

スコープ1,2の事業活動における、CO₂排出量削減率目標をコミット。

前期の取り組みを受けて

サステナビリティ委員会
サステナビリティ責任者 池田直樹

2022年11月から当社の64期がスタートしました。

先述した再エネ電力調達も、昨今の国際情勢により大幅な料金アップとなり、さらに1拠点で3月末に再エネ調達が出来なくなることになりました。2023年はCO₂削減と再エネにとって、非常に厳しい1年になりそうです。

しかし、当社はそんな状況だからこそ変化の先頭に立ち、このような取り組みのトップランナーでいたいと思っています。

01 2035年を目指した事業開発方針

環境問題や人口減少といった課題がある中、循環型社会構築に向けた新たな事業の展開が求められる時代となりました。一方、トラックドライバーは現時点で10万人超、2028年には28万人が不足するといわれています。斎藤英次商店は、その中で日本の優れた静脈物流・資源循環を継続するために、古紙と並ぶ複数の事業領域を展開していきます。

02 今後の事業の柱となる5領域

再生資源事業	古紙回収の経験を多様な資源循環に活かします	
静脈物流事業	静脈物流のファーストワンマイルを目指します	
社会福祉事業	高齢者・障害者が働きやすい労働機会を創出します	
知識労働機械化事業	サーキュラーエコノミーを支える機械化を実現します	
再生可能エネルギー事業	再生可能エネルギーでゼロカーボン社会へ貢献します	

当社では、商品・サービス開発部門を設け、上記事業領域に関連するビジネスパートナーを募集しています。ぜひお気軽にご連絡ください。

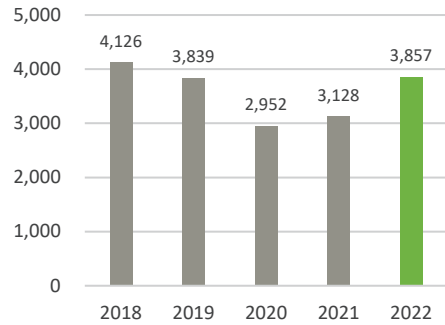
ビジネスパートナー 募集中！



財務

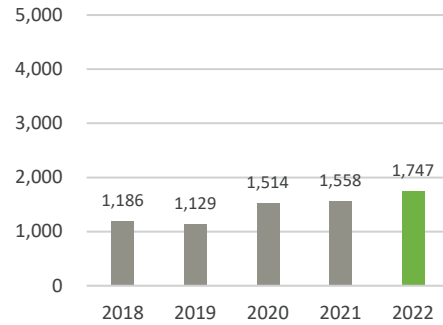
売上高

2022年度 **3,857** 百万円



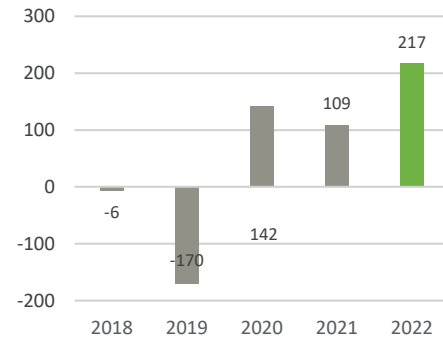
売上総利益

2021年度 **1,747** 百万円



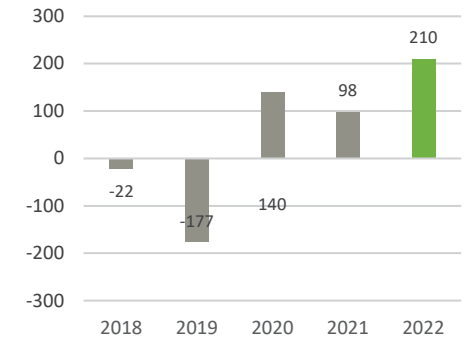
営業利益

2022年度 **217** 百万円



経常利益

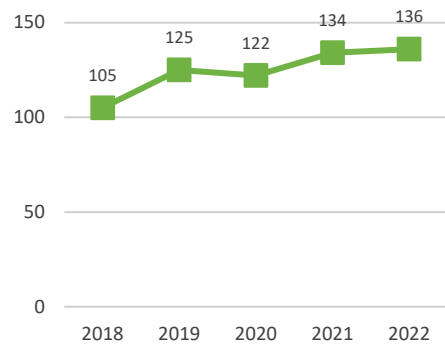
2022年度 **210** 百万円



非財務

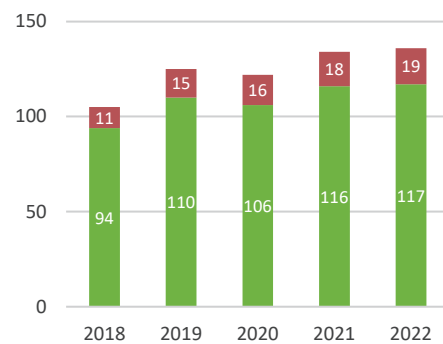
従業員数

2022年度 **136** 名



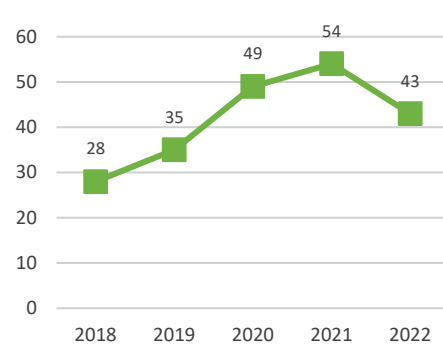
従業員男女比率

2022年度 **女性 19** 名



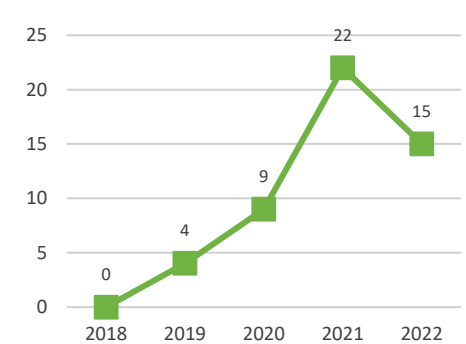
従業員満足度

2022年度 **43 %**



産業廃棄物管理能力検定合格者

累計 **50** 名



特集

環境

社会

ガバナンス

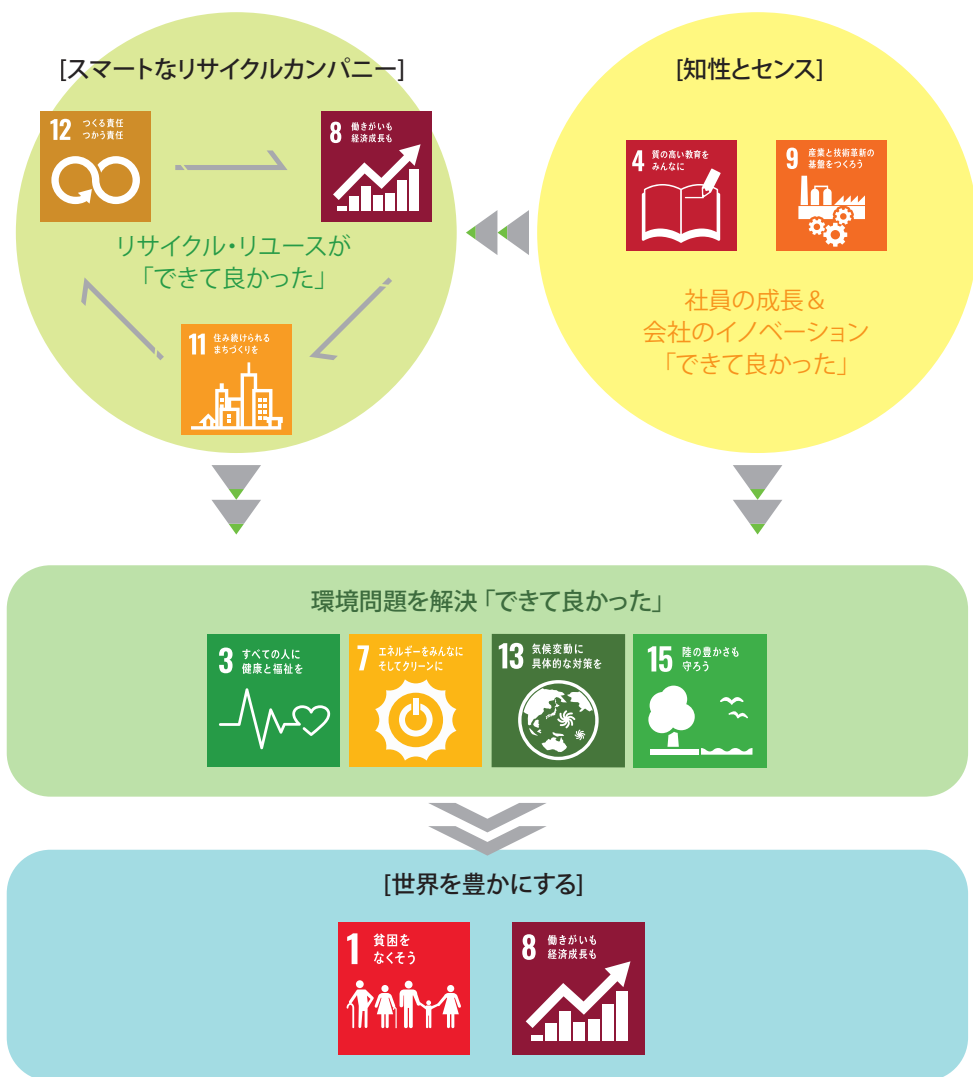
地域



基本理念

当社の事業がサステナビリティ(持続可能性)に対し、どのように関わっているのか。ミッション・ビジョンに対応した全体像をご紹介します。

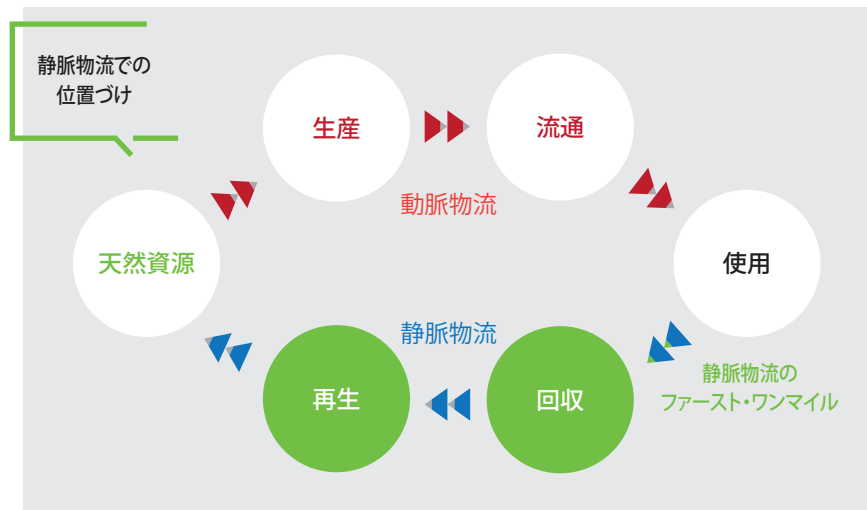
01 SDGsの17目標と当社事業



02 静脈物流の「ファースト・ワンマイル」

古紙問屋から静脈物流企業へ...

古紙のみに留まらず、あらゆる循環資源が排出される“ファーストワンマイル”を当社が担うことで、サーキュラーエコノミー実現へ貢献していくことを目指します。



特集

環境

社会

ガバナンス

地域

2022年度はSDGs・ESG推進の一環として、有限会社サステナブル・デザインの西原弘氏を講師に招き「サステナビリティ経営人材養成講座ちばスクール」を開校いたしました。

ちばスクールでは、サステナビリティに関する責任者＝CSO(チーフ・サステナビリティ・オフィサー)を育成するために、現在4つのステップで講座をご用意しております。

01 講座ラインナップ

- 1. SDGsを自社の経営に生かすための『はじめの3歩』セミナー
- 2. SDGs基礎知識講座(SB)
- 3. サステナビリティ・トレーナー養成講座(ST)
- 4. サステナビリティ・ファシリテーター養成講座(SF)

講師の西原弘氏(左)と
弊社サステナビリティ責任者池田(右)



順にステップアップしていくことで、SDGsやESGに関する社内での講師活動を実施することが出来るようになります。

セミナー開催は当社にとって経験のないことでしたが、計3回の開催で25名もの方々にご参加いただきました。

02 受講した皆さまの声



自分の知識不足を痛感いたしました。グリーンウォッシュという言葉がありますが、このままだと弊社も何となくの理解のままSDGsの取り組みを進めてしまうところであったと思います。学びの時間を頂けましたことを感謝しております。ありがとうございました。



SDGsに取り組む前に、歴史を知ること。まずは自社、古ければ古いほど、SDGsの種は多いということが学びました。SDGsというのは聞こえが良いですが、自分自身ではフワツとしており、いまいち理解ができていませんでした。もちろん、今回聞いたからといって直ちに出来るわけではありませんが、自社の歴史を紐解いていき、そこから学ぶと自身のゴール、自社のゴール、社会のゴール、となるとと思います。

第3章 — 環境 —

- 環境マネジメント
- 今年目標対実績／来期の目標
- CO₂排出・廃棄物削減の取り組み
- 環境に向けた取り組み／マテリアルフロー
- ハコメル・ダイレクト:ゼロ
- コラム2:リサイクルステーション「古紙ゆたか」



基本理念

経済で持続可能な環境保護の取組み。心で持続可能な環境保護の取組み。
 経済と心の両方をつなぎ合わせることが斎藤英次商店の使命です。
 「物の価値と心の価値をつなぎ、『できてよかった』の幸せで世界を豊かにします」

基本方針

1. 私たちは事業活動を通じて環境貢献します。
2. 私たちは、事業活動における環境負荷を軽減します。
3. 私たちは地球環境のために投資します。
4. 私たちは地域の環境美化活動に参加します。
5. 上記方針を実践するため、目的・目標を設定し、その達成をするためのアクションプランを作り行動します。目標達成のための見直し、マネジメントレビューによる見直しを、目標やアクションプランに組み込み、環境マネジメントシステムの継続的改善を行います。
6. 私たちは、環境法規則、法的要求事項、を遵守します。
7. 環境方針は、全構成員に周知し、環境保全の教育、啓蒙活動を行います。

2018年12月1日改定

01 マネジメント実行体制

気候変動問題や人権問題などの世界的な社会課題が顕在化している中で、中長期的成長を目指す上で重視すべきESG、SDGsの観点での配慮を事業に組み込むため2021年より「環境管理委員会」から「サステナビリティ委員会」へ組織変更しました。本委員会では主にサステナビリティに関する目標の策定、それらを実践するための体制の構築・設備、およびISO14001の管理体制を活用した各種施策のモニタリングを行っており、それらの運用状況を「内部監査チーム」が監査し都度状況報告をしています。



02 環境監査の実施

各拠点ではISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築しています。これらのシステムが適切に運用されていること、規格に適合するかどうかを確認するために、社内監査員による内部監査ならびに外部監査員による外部審査を定期的実施しています。当社では審査結果などを受け、マネジメントシステムの継続的改善に取り組んでおります。

03 環境法令および環境事故への対応

環境法令の遵守状況

「環境監視及び測定項目一覧表」を用いて年2回法令違反の未然防止に取り組んでおります。2022年度は環境関連の法令違反はありませんでした。

環境に関する苦情件数

2022年度の騒音・振動などに対する苦情は0件でした。苦情が発生した場合原因究明ならびに再発防止策を講じることとしています。

環境事故対策

期首に「緊急事態可能性リスト」を作成し想定し得る環境影響をすべて洗い出しさまざまな環境リスクの未然防止対策を講じております。

避難訓練

実際に災害が発生した際に安全に避難できるよう毎年9月頃に各部署の担当委員のもと避難訓練を実施しています。訓練後は各委員が評価を行い改善に努めています。

04 環境教育の実施

新入社員(中途含む)を対象に環境教育を実施しております。また、全従業員が環境問題を解決するにあたり自身の業務の理解を深めると共に、環境問題に対する意識改革のために2021年度からすべての部門で毎年1回の頻度でISO14001規格を基にした環境教育講座を行っております。



新入社員への環境教育の様子

特集

環境

社会

ガバナンス

地域



環境活動の目標

基本方針

持続的な環境問題解決へ向け課題を明確にし、それぞれの課題に対して具体的な目標を設定しています。課題解決のために定期的な計測、状況の把握を行うことで継続的な改善を行っています。2021年度から新たにCO₂計測に関する項目を設定しました。

01 2021～2024年の目標

項目	目標
CO ₂ 排出量	2021年比10%削減
再生可能エネルギー率	再生可能エネルギー10%以上
生産量対燃料消費	前年比100%以下
燃料使用由来CO ₂ 排出量	前年比100%以下
環境美化活動参加人数	前年比100%以上

02 ちばSDGsパートナー

SDGs達成に向け環境・社会・経済の3側面において具体的な取り組みのある、または取り組む意欲のある企業・団体等を対象とした『ちばSDGsパートナー』に登録しています。

自社内での取り組みのみならず、本制度と連携し外部企業と協同での環境貢献商材開発や、リサイクル機会のマッチング、セミナー等を通じた意見交換による環境貢献意識の共有などを実施していきます。当社の取り組みについてはHPやSNSなど様々な媒体を通じ幅広く皆さまにお伝えしていく所存です。



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 304号
千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん



今年の実績

レビュー

CO₂排出量削減、再生可能エネルギー率、環境美化活動参加人数の目標を達成しました。CO₂排出量は電力契約を再生可能エネルギー由来にしたことで大幅に削減が出来ました。同時に再生可能エネルギー率も85%となり達成しました。燃料消費は車両の稼働が増え生産量が増えたことで前年を超えてしまいました。

01 今年の実績

項目	実績	達成度
CO ₂ 排出量	19.8%減	目標達成
再生可能エネルギー率	85%	目標達成
生産量対燃料消費	前年比103%	未達
燃料使用由来CO ₂ 排出量	前年比105%	未達
環境美化活動参加人数	前年比341%	目標達成

02 今後の展望

2046年のカーボンニュートラル達成(ビジョン2046)に向けて、2023年度は太陽光発電によって拠点内での自家発電自家消費を進めます。使用する重機の電動化を進めると同時に、現在技術的に電動に代替できない回収車両についてはエコドライブを徹底し、燃料消費量を低減します。

また、持ち込み業者からの調達に関してスコープ3の計測を開始します。さらに、カーボンオフセットを商品・サービスに組み込み、環境負荷が低い商品・サービスを提供します。

特集

環境

社会

ガバナンス

地域



01 CO₂排出削減

CO₂排出量低減に向けて内部教育を複数回実施し、各部署で毎月CO₂排出量の計測を行いました。電力と燃料使用によるCO₂排出量は、**前年対比80.16%**を達成しました。

電力は、2022年1月より柏本社・船橋営業所・北茨城営業所・備蓄倉庫を除いた8拠点で再生可能エネルギー電力の活用プランを導入したことで、CO₂排出量を前年比78%と大幅に削減することができました。

一方で、燃料使用由来のCO₂排出量は、前期「1,332,234kg-CO₂」に対して今期「1,401,116kg-CO₂」と前年比105%で、目標未達成となりました。回収エリア拡大や回収物件数増加により、稼働車両が増え、走行距離が伸びたことが要因と思われます。そのため、軽油発生由来のCO₂削減が課題となっています。

また、CO₂の大幅削減は再生可能エネルギー電力の活用プランに切り替えた影響によるものであり、自力で排出削減策を実施する必要があります。

当社の主要事業である製紙原料事業では、今後古紙の仕入数量増加に伴い車両稼働が増えることで、燃料使用量及びCO₂の排出量が増えることが予想されます。現時点で当社の使用している車両と同機能の低炭素車両が開発されていないことから、来期では、**エコドライブの徹底**によりさらなる環境負荷の低減に努めたいと思います。

02 再エネ100宣言 RE Action

企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が、使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みである『**再エネ100宣言 RE Action**』への2023年4月加盟を目指し、準備を進めています。

現時点での当社の全消費電力量は**1,114,037kWh** (2022年度)あり、現在の再生エネルギー電力割合は85% (2022年度)です。創業100年の2046年までに再生可能エネルギー100%を達成するためにも、引き続き**内部教育を活性化**させると共に、再生エネルギーに関連した新規事業への参入も積極的に行っていきます。

再エネ100宣言
RE Action

03 社内で出た不用品のリユース

当社では、これまで産業廃棄物として処分されていた不用品を、社内外へリユース(再利用)する取り組みを2021年から開始いたしました。「**ジモティー(地域のネット掲示板)**」を活用し、社外の方へリユースする活動にも積極的に取り組みはじめたことで、現在 本社での不用品リユース率は100%となっています。

■ 社内リユース

本社で廃棄予定の物品をリスト化し、社内で情報共有に使用している媒体へ掲載して引き取り希望者を募集しています。

本社だけでなく営業所へも情報共有されることで、今まで発生していたムダな購買や廃棄が減り、より環境負荷の少ない事業活動を実施できています。

例) ホワイトボード/事務用品/マグカップなど



■ 社外リユース

社内で引き取り手のない備品は、地域のネット掲示板「**ジモティー**」を利用し、社外で必要とされている方に無償譲渡しております。

再使用は厳しいのでは、と思われた物でもネットを通してお声がけいただくことができ、何度もご利用いただいている方も増えてくるなど、環境負荷の低減だけでなく地域との接点も増える良い機会となっています。

例) 観葉植物/パソコン/事務用品/食器など



備品
リユースの
流れ

不用品
排出



社内
リスト掲載



ジモティー
投稿



新しい使い手へ

特集

環境

社会

ガバナンス

地域



環境に向けた取り組み

エイジの森 - 環境貢献度の可視化 -

当社では、お客様が当社を通じて古紙リサイクルしていただくことで、どの程度環境に貢献されたのか、「エイジの森」というプロジェクトでその貢献度を可視化しています。

その一環として、「環境貢献カード」の送付を開始いたしました。

(機密文書溶解処理サービス「ハコメル」をご利用いただいたお客様の中で「溶解証明書」の発行をご希望いただいた方が対象となります。)

「環境貢献カード」では、①木の数量 ②木のCO2吸収量 ③CO2の排出量例の3つ観点から、お客様の排出量に応じた環境貢献度を可視化しています。皆さんが生活の中で避けられないCO2排出をできる限り軽減し、日々の生活の中で環境貢献を意識する目安としてお役立てください。



■ 1. 木の数量

排出された「機密文書の重量」を「コピー用紙」の枚数に換算し、その分の「コピー用紙」を作るのに必要な「木の本数」を算出しています。



■ 2. 木のCO2吸収量

リサイクルすることにより伐採されなかったと仮定できる「木の本数」から、その木が1年間に吸収するCO2量を計算しています。



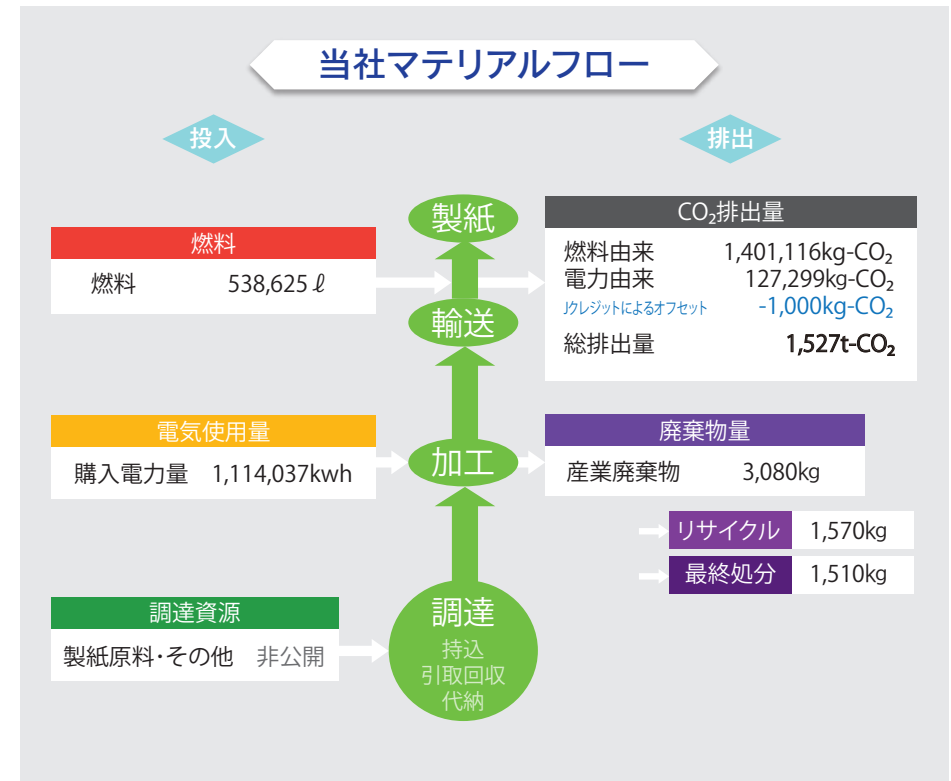
■ 3. CO2の排出量例

上記で算出されたCO2量が、日常生活ではどのような場面で発生するのか、具体的な事例に換算してお知らせします。



マテリアルフロー

01 当社のマテリアルフロー



※CO₂排出量・燃料使用量に持込・代納は含まず

02 CO₂排出量の計測範囲



※マテリアルフローは上記①②③④の活動による燃料・電力利用量及び左記由来のCO₂排出量を示します。他社における投入資源とCO₂排出量は含みません。

※①は、代納店取引の重量を除いた納入量ベースです。スコープ1~3のすべてを網羅する数値ではありません。これらを原単位として引用などのご利用はお控えください。

特集

環境

社会

ガバナンス

地域

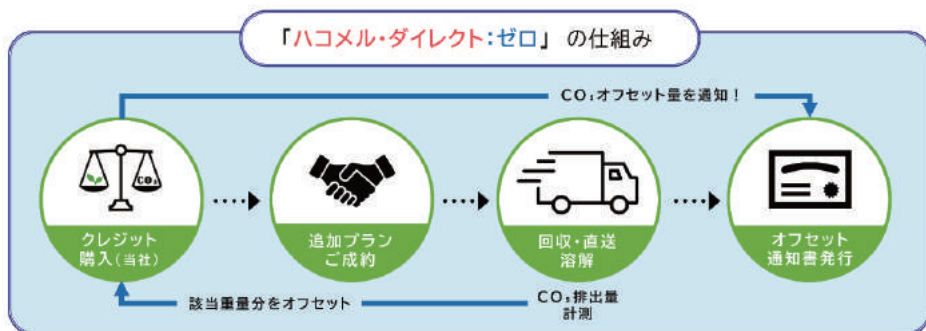


01 ハコメル・ダイレクト:ゼロとは



当社の機密文書溶解処理サービス「ハコメル・ダイレクト」をご利用時に、輸送工程で排出されるCO₂を、オフセット（相殺）する新規サービスを開始いたしました。

オプションとして選択するだけで、機密文書 輸送工程で出るCO₂を「オフセットクレジット」で相殺、CO₂排出を実質ゼロにできるサービスとなっております。



カーボン・オフセットとは

出来る限り温室効果ガス削減努力を行った上で、どうしても排出されてしまう温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガス削減活動（植林・クリーンエネルギー分野など）に投資する等の方法をとることで、総体的な温室効果ガスの排出量を埋め合わせることで。

02 ハコメル・ダイレクト:ゼロの特徴

■ CO2排出実質ゼロ

当社では、お客様の機密文書輸送工程で発生した燃料使用由来のCO₂排出をカーボンオフセットし、CO₂排出を実質ゼロにすることができます。

■ 協賛企業掲載

ご希望の場合に限り、「カーボン・オフセットにご賛同いただいた企業様」として、本冊子や同サービス関連資料などに賛同企業名を掲載させていただきます。

カーボン・
オフセット

賛同企業様

東レ株式会社
土浦工場 様

2022年11月に、はじめて当社の
「ハコメル・ダイレクト:ゼロ」
をご利用いただきました。

■ オフセット通知書

ハコメルで利用時に発生したCO₂排出量分を、オフセットクレジットプロバイダーより発行される無効化通知書記載の数値より差引きオフセットいたします。

ご利用後は、当社からお客様のCO₂排出量およびオフセット量を掲載した「オフセット通知書」を発行させていただきます。



[カーボン・オフセット通知書]

特集

環境

社会

ガバナンス

地域

だれもが簡単に環境貢献できる場所を

「リサイクルステーション 古紙ゆたか」は、段ボール／新聞／雑誌（漫画本や書籍類）／古着などの資源物を、無料で受け入れ可能な施設です。現在、10拠点のうち7拠点で24時間・365日受け入れを行っており、事前予約や連絡も不要なため、気軽にリサイクル・リユースすることができます。

「古紙ゆたか」は2017年ごろに誕生しました。現在では、利用者の方から「仕事で発生した段ボールをいつでも処分できるのでありがたいです」「ごみ集積所に出せる古紙の数量が決まっているので助かります」など、うれしいお言葉をたくさんいただいております。

そんな古紙ゆたかの受入数量は、2018年から拠点数が増えたことにより大幅に増加しました。その後、緩やかに増加率は下がっているものの、沢山の方に定期的にご利用いただいていることで、受入量は安定しています。

今後も地域の皆様にとって、気軽に資源循環を行い、環境貢献へ繋がられる場所として、便利で使いやすいリサイクルステーションを目指してまいります。

古紙ゆたか

受入数量 推移

59期 (2017.11.1～2018.10.31)	249,600kg *9拠点
60期 (2018.11.1～2019.10.31)	433,776kg <前年比174%>
61期 (2019.11.1～2020.10.31)	692,570kg <前年比160%>
62期 (2020.11.1～2021.10.31)	907,820kg <前年比131%>
63期 (2021.11.1～2022.10.31)	1,056,000kg <前年比116%>

*59期のみ9拠点、60期以降は10拠点の合計数量です。



第4章 — 社会 —

- 今年目標対実績／来期の目標
- 人権・人材
- 品質・サプライチェーン
- 安全・5S活動



社会活動の目標

基本方針

企業活動の裏で発生する社会問題を解決へと導き持続可能な社会の実現のために従業員一人一人の人権を尊重し、それぞれが最大限能力を發揮できる環境づくりを行います。

2021～2024年の目標

項目	目標
有給休暇取得	80%以上の社員が取得 取得日数の50%以上消化
平均所定外労働時間数	ドライバー以外40時間以内 ドライバー100時間以内
女性人数	2021年比300%以上増加
デジタル人材	正社員の10%以上
離職率	フルタイム12%以下 パートタイム25%以下
教育訓練研修時間	総労働時間の5%以上
教育投資額	売上高の1%以上



今年の実績

レビュー

教育訓練研修時間や投資額は、近年計測を開始した項目のため、今後 実績数値を基に担当部署からの働きかけや個人目標での学習時間の設定などが求められます。デジタル化を推進していくためにも、まずは社内でデジタル人材を増やす施策を実施いたします。

01 今年の実績

項目	実績	達成度
有給休暇取得	98%以上の社員が取得 取得日数の90%以上消化	目標達成
平均所定外労働時間数	ドライバー以外18.7時間 ドライバー26時間	目標達成
女性人数	前年比105%	未達
デジタル人材	0%	未達
離職率	フルタイム9.1% パートタイム40%	未達
教育訓練研修時間	総労働時間の0.4%	未達
教育投資額	売上高の0.1%以上	未達

02 今後の展望

引き続き、持続的な企業価値向上のために、有給休暇の取得しやすい環境づくりや平均所定外労働時間ならびに離職率改善などへ全部署で相互支援を実施していきます。また、長期目標である営業所の省人無人化や新たな脱炭素事業への参入のため、従業員に対する計画的なデジタル教育の実施、ならびにデジタル人材の積極採用を行います。2024年までに総労働時間の5%以上を教育研修時間として活用し、従業員一人一人の知識を深め、新商品・新規事業開発や既存事業の発展を目指していきます。

特集

環境

社会

ガバナンス

地域



基本方針

従業員一人一人がそれぞれの幸福を追求する権利を尊重し、健康で文化的な生活を営むことができるよう人事制度や教育制度の充実にに向けて取り組んでいます。

01 人権を尊重する環境づくり

ハラスメント講習

ハラスメントについて正しく知ることによって従業員のリテラシーを強化し、組織としてハラスメントを起こさない環境・体制を作ることを目的とし全役職者に対し外部講師を招きセクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止研修を実施しています。セクシュアルハラスメント防止規程、パワーハラスメント防止規定を定め、違反行為がないようこれらの内容を社内研修で再度周知徹底しています。

従業員満足度調査

毎年、働きやすい環境づくりのために全従業員に対し満足度調査を行っております。その年によって会社の行った活動とリンクさせた内容で作成しており、集計・調査結果もその都度 全社員が閲覧できる掲示板に掲載され、代表取締役が自らコメントを返すこともあります。



[従業員満足度調査ポートフォリオ分析]

SOP(スタンダード・オペレーティング・プロシージャ)

業務を適切・安全に行うために作業工程ごとに標準作業手順書を作成し、全従業員に共有しています。各作業工程における手順を明確にすることで危機管理意識の浸透を図るだけでなく、一人一人が仕事のしやすい環境を整えております。

02 福利厚生 - 社内サークル活動 -

2021年11月より、福利厚生の一環としてサークル活動を開始しました。活動費の一部は、参加人数に応じて会社から支給されます。上司部下・先輩後輩・部署など関係なく、従業員同士の親睦を深めることが出来、普段の業務では関わりが少ない部署の方と交流できるのも楽しみの1つです。

現在は4つのサークルがあり、サークルごとに活動頻度も異なります。参加の強制などは無く、社員それぞれが興味のあるサークルに、任意で参加しています。都合の付く時だけ参加できる「ゆるさ」も魅力です。

03 活動サークル 一覧

現在は、全4サークルに合計43名が所属しています。

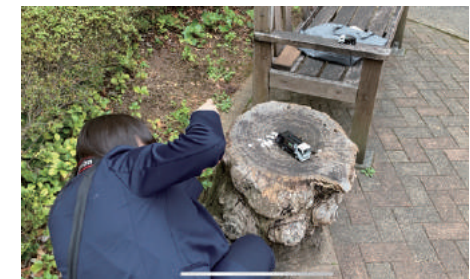
レクリエーションサークル



映画同好会



SNS研究会



特集

環境

社会

ガバナンス

地域



基本方針

社内外の講習などを有効的に活用し、生産性向上、利益を最大化するために従業員一人一人が最大限の能力を発揮できるように設備を整え、支援体制を構築していきます。

01 能力を向上させる人材教育

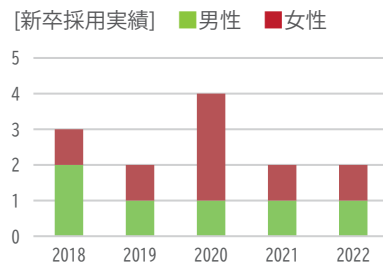
社内講習・社外講習

会社をイノベーション体質にするための研修、社長自らが講師となる行方マネジメント講習や業界知識などの研修、デジタルトランスフォーメーションやESG、ブランディングに関する勉強会など多岐にわたり社内研修を実施しております。

また、営業所で使用する重機の技能講習、中型・大型自動車運転免許といった実務に必要な技能資格の受講・取得や、MOS資格をはじめとしたPC技能に関する講習、各種ビジネスセミナーなど、社員ひとりひとりのスキルアップに繋がる外部講習の受講を奨励し、参加費／受講費を会社が負担する仕組みを整えております。

新卒採用

安定した企業経営の継続ならびに年代構成のバランスを取るため、長きにわたり新卒採用を行っています。既存業務や人間関係に刺激を与え続ける人材を採用し時代とともに進化し続ける企業を目指しています。



業務改善提案

当社独自の取り組みとして、すべての従業員が自ら考え職場環境を改善していく業務改善活動の運用がございませう。全部門、役職関係なく提出が可能で改善内容に制限を設けていないことが大きな特徴です。

業務改善提案	2021年上期	2021年下期
件数	156件	199件

02 ワーク・ライフ・バランスの実現

仕事は我々の生活を支えるために必要なものであり、やりがいを感じさせてくれるものでもあります。持続可能な社会実現のため、性や年齢などに関わらず誰もが意欲と能力を発揮し一人一人が健康で豊かな生活ができるよう、さまざまな制度を導入しそれらの活用を推進しています。

制度	内容
短時間勤務	全従業員がイノベーション推進部に申請し取得することが出来る。
時差出勤	全従業員が上司の許可をもらい実施することができる。
在宅勤務	本社勤務の従業員が上司の許可をもらい実施することができる。
育児休暇	入社1年以上の従業員が、子が1歳2か月に達するまでの間で取得することができる。
介護休暇	入社1年以上の従業員が取得することができる。

柔軟な勤務体制の確保

新型コロナウイルスの感染拡大防止、ならびに業務の生産性向上のため当社では在宅勤務、時差出勤を導入しています。業務が滞りなく進むよう月曜日から水曜日を在宅勤務推奨日として、木曜日から金曜日を本社勤務推奨日と定めています。(緊急事態宣言やまん延防止法が発令された場合は、政府要請の在宅勤務日数を義務付けています。)営業所勤務者、内職市場勤務者は対象外としています。

特集

環境

社会

ガバナンス

地域



品質保証

基本理念

株式会社斎藤英次商店は、使命と顧客の価値を基盤に、あたらしい市場、あたらしい顧客、あたらしい商品、あたらしいチャンネルを創造します。

基本方針

1. 古紙をより高く買いより安く売るために全力を尽くします。
2. 顧客のリサイクルを容易にする研究開発を行います。
3. 顧客満足度の絶え間ない向上を目指し、顧客価値を高める製品・サービスの継続的改善を実施します。
4. 品質管理は、商品・サービスだけでなく、接客、収集運搬、計量、事務、などを範囲にします。
5. この品質方針を達成する為の、品質目標を設定し、進捗管理を行います。

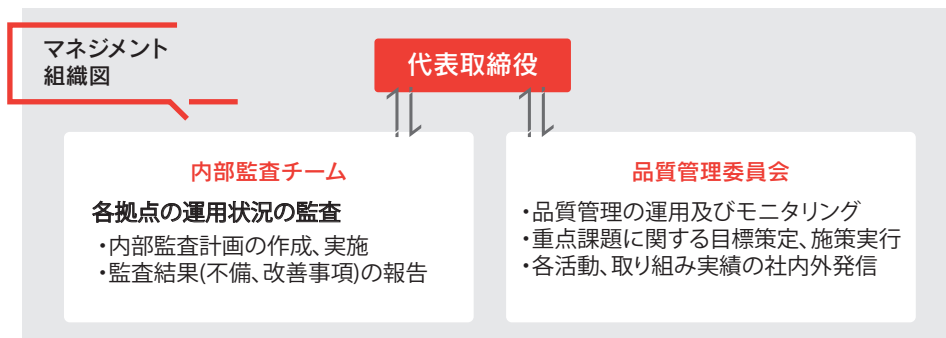
全社員は品質方針及び目標を理解し、顧客満足を獲得するようそれぞれの役割を実行します。
全社員は品質管理手順書を実践します。

2014年10月21日改定

01 マネジメント実行体制

本委員会では主に品質管理に関する目標の策定、それらを実践するための体制の構築・設備、および各種施策のモニタリングを行っており、それらの運用状況を「内部監査チーム」が監査し都度状況報告をしています。

お客様満足度向上を目指し、品質に関する重要な情報や注意喚起依頼を素早く全社に発信するのも本委員会の役目です。現場レベルにまで周知徹底させることで、ストレスを感じることなく当社を利用いただけるよう日々努めております。



サプライチェーンマネジメント

基本理念

お客様満足度向上のために常にあらゆる経営資源を有効活用します。

02 経営資源

製紙原料の平準納入のため、当社では新規取引先の開拓ならびに既にお取引先している企業様と連携し古紙の調達を行っております。

環境に配慮した原料を提供するにあたり本社・船橋・北茨城を除いた計8拠点で実質再生可能エネルギーを使用しています。

また、製紙会社様の荷受け状況を考慮し、千葉県・茨城県で計5カ所、約1万トンの在庫保有可能な備蓄場を設置しています。

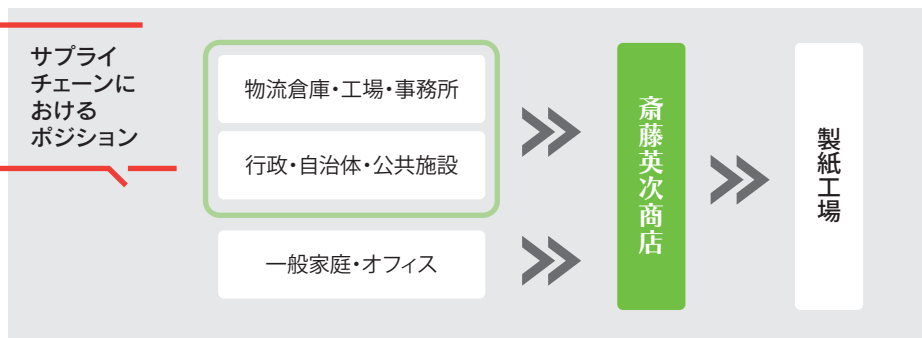
経営資源	数値
営業所	10拠点
ドライバー	66名
回収車輛	84台
重機	47台
ペーラー機	13基
備蓄場	5箇所

古紙調達先・納品先

- 古紙排出事業者：1,738件
- 協力業者：持込業者534件、代納17件
- 国内製紙：12社(18工場)
- 輸出国5カ国：6社

主要取引先(五十音順)

いわき大王製紙株式会社 / 王子マテリア株式会社 / コアレックスグループ / 高砂製紙株式会社 / 鶴見製紙株式会社 / 日本製紙株式会社 / 丸三製紙株式会社 / 丸富製紙株式会社 / レンゴー株式会社 / 他数社



特集

環境

社会

ガバナンス

地域



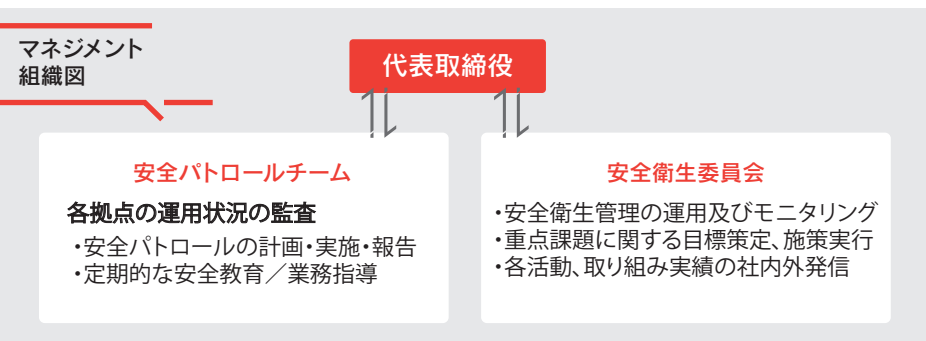
基本方針

職場における従業員の安全と健康を確保、快適な職場環境を形成するために労働災害の防止基準の確立、責任体制の明確化、自主的活動の促進の措置を推進しています。

項目	目標	実績
連続休暇取得	社員の70%以上が5日以上	社員の63%以上が5日以上
社員BMI平均値	31.25以内	23.75
事故件数	前年比100%以下	前年比78.3%
労働災害件数	前年比100%以下	前年比50%
安全衛生基本教育実施	新卒入社時、作業内容変更時、職長教育実施率100%	実施率100%

01 マネジメント実行体制

本委員会では主に安全衛生管理に関する目標の策定、それらを実践するための体制の構築・設備、および各種施策のモニタリングを行っており、それらの運用状況を「安全パトロールチーム」が監査し都度状況報告をしています。



03 環境法令および環境事故への対応

安全パトロール

毎年、パトロールチーム主導で各事業所（計12拠点）の安全パトロールを実施しております。安全な作業がなされているか、安全意識を持って作業しているか、危険な場所はないかなど複数の項目で厳しくチェックを行い、職場環境、職場衛生の保全に努めております。

ウイルス感染予防

従業員の安全確保のため当社では在宅勤務、時差出勤を導入し柔軟な勤務体制で業務に取り組んでおります。また、各種ウイルスの感染を未然に防止するために定期的に安全衛生委員よりウイルス感染症に関する最新情報、予防対策などを全社に共有しています。

通信型ドライブレコーダー導入

安全運転・作業支援のため2021年に全車両（営業車両、回収車輛など）に通信型ドライブレコーダー『G500Lite』を実装しました。リアルタイムでの運行业務状況把握や事故発生時の映像を管理者へ送信することが可能です。事故未然防止のため解析された使用者のデータを活用しています。



[通信型ドライブレコーダーの映像](後方設置)

巻き込まれ防止AI導入

巻き込まれ被害防止のため2021年に新たに巻き込まれ防止AI付きパッカー車を導入しました。画像認識技術を活用した安全装置で車体後方に設置したカメラが撮影する画像をもとに「資源物」と「人」を高精度で区別します。危険性があるとAIが判断した場合は自動で停止する機能があります。



[巻き込まれ防止AI付きパッカー車]

特集

環境

社会

ガバナンス

地域



5S活動への取り組み

01 5S活動とは

5Sとは職場環境改善のために「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰(しつけ)」の5つの観点から行われる取り組みや活動を意味します。古くは工場や病院などで取り入れられていましたが、今やさまざまな業種で5S活動が推進されています。

まずは「整理」「整頓」「清掃」の3つを行うことで、私たちの働いている環境を改善します。不要なものを処分し、置き場を決めることで、作業効率向上や安全性の確保が期待できます。

02 当社の取り組み

当社では、産業廃棄物として処分されていた不用品を、2021年頃から「ジモティー(地域のネット掲示板)」を活用し、リユースする活動にも積極的に取り組みはじめました。これにより、現在 本社での不用品リユース率は100%となっています。

また、職場をキレイにした後は、それらを「清潔」に保つために管理をしなければなりません。そこで当社は3ヶ月に1回、パトロール責任者が本社や営業所を巡回し、社内の5S規格を満たした職場環境となっているか確認します。その際には、巡回をして終了ではなく拠点ごとのフィードバックが作成され、次回までに正すべき是正点が通知されたうえで拠点ごとの教育が行われます。

こうした「躰(しつけ)」は、職場環境の改善だけでなく、日々の業務を健やかに遂行できるよう、言葉遣いや身だしなみの指導も含まれます。



ジモティー



第5章 — ガバナンス —

- コーポレート・ガバナンス
- リスクマネジメント
- 顧客の声



コーポレート・ガバナンス

基本方針

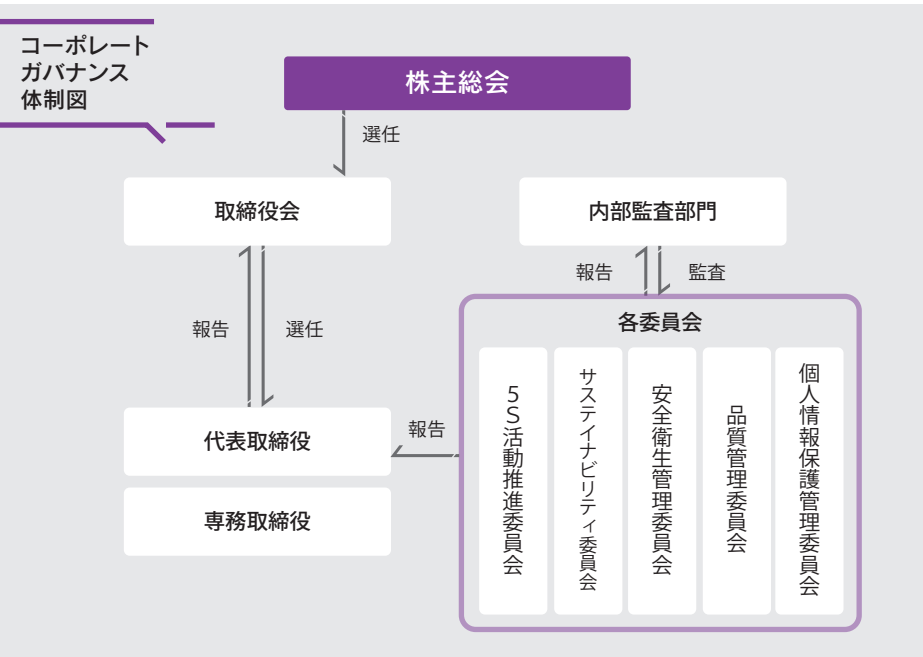
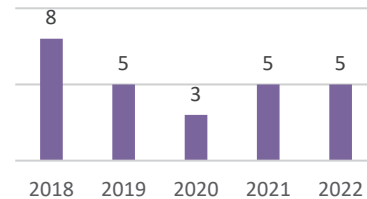
斎藤英次商店は顧客・従業員・地域社会などの利害関係者の立場を踏まえ、正確な情報開示ならびに透明性の向上に努めております。公正かつ迅速な意思決定を行い健全な経営に取り組むために取締役・監査制度を設けており、それらをより強化することで、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実を図ります。

コーポレート・ガバナンス体制

監査役会設置会社として、適切な情報開示と透明性の確保に努めています。現在は取締役3名、監査役1名を選任。

監査役による取締役の職務執行監査、経営管理組織体制の把握ならびに財政状況共有のため年に平均で5回取締役会を実施しております。

[取締役会 開催実績]



リスクマネジメント

個人情報保護方針

株式会社斎藤英次商店は、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守し、製紙原料卸売業の一員として顧客及び一般消費者の信頼を得ることにより、高度情報社会の健全な発展に資するため、次の通り個人情報保護方針を定め、これを実行いたします。

当社は、個人情報の取得、利用、提供、取扱の委託を適正に行い、個人情報の廃棄に関しては万全を期します。また個人情報ごとに特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどに対して適切な安全対策を講ずるとともに、その予防と是正を実施いたします。これらの目標を達成するため、JIS Q 15001の要求事項に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、実施し、維持し、及び継続的改善に努めます。

個人情報に関する法令およびその他の規範を常に最新状態に維持するとともにこれを遵守いたします。個人情報に関する問合せ、苦情に対し、誠実かつ迅速に対応いたします。

2020年12月1日

01

リスクマネジメント体制

経済活動で生じる恐れのある損失の回避、ならびに損失が発生した場合の拡大防止措置を講じることで、事業を継続するための環境保全を行うため、サステナビリティ・品質管理・安全衛生・5S活動推進・個人情報保護の計5つの委員会を設置しています。各委員会で社内規定やマニュアルの策定修正などを行い、リスク回避を組織的に管理しています。

また、従業員のモラルハザード発生を防ぎ、リスク管理に関する意識を向上させるため、必要に応じてコンプライアンス研修やリスクマネジメント研修を実施しています。

02

JISQ15001 認証取得

2021年7月に個人情報保護を目的としたJISQ15001認証を取得。個人情報を適切に保管・管理するため、要求事項に定められた規格に基づき社内体制を整備、マネジメントシステムを構築することで、効果的かつ効率的な個人情報管理の実施に努めております。



特集

環境

社会

ガバナンス

地域



01 商品・サービスアンケートの実施

弊社では、商品・サービス向上のため、ご利用いただいたお客様に『商品・サービスアンケート』をお送りしています。これにより、お客様を取り巻く事業環境や市場の変化を学び、どのような影響やお悩み事があるかを確認しております。

お客様の声に耳を傾け、その貴重なご意見をもとに、改善や改良、新たな商品・サービスの開発を行っていくことで、より良い商品・サービスの提供を目指します。

02 商品・サービス別の事例



古紙回収

引っ越しで大量に段ボールが出て、資源回収の日まで保管しておくスペースが無く困っていました。回収の予約もスムーズだし、来ていただいたドライバーさんも丁寧で、お願いして良かったです。



ハコメル
(機密文書処理)

シュレッダー作業を行っていましたが、量がいつもより多く社内のシュレッダー処理だけでは対処しきれなくなっていました。なので、箱に入れて封をするだけの処理方法が簡単で、非常に助かりました。

仕事上で処分する書類が増え、定期的に処分する必要が出てきたので、手軽に持ち込めるところを探していました。



内職市場

開業当初は、社員や現場のスタッフ間の連携が取れておらず、お願いしても一部作業ミスが発生することがありました。

ですが現在は、急な依頼でも気持ちよく受けてくださり、短納期で丁寧な作業を行っていただき大変満足しています。

第6章 — 地域 —

- NPO法人かしわ環境ステーションへの参加
- 環境教育 - ecoアカデミー -
- 工場見学の実施
- ゴミゼロに向けた取り組み



当社では、市民や学校・企業など多様な主体が連携し、柏市内の環境保全に対して様々な活動を行うNPO法人、「かしわ環境ステーション(KKS)」に所属しております。

環境への理解を深めることや、環境保全活動の普及促進を目的に、セミナー開催や環境貢献に先進的な事例の視察などを実施しています。

01 環境貢献を行う施設の視察

2022年2月15日に、ソーラーシェアリングの先進事例視察のため、小田原「かなごてファーム」をKKS参加メンバーで訪問しました。水田と畑上にソーラーパネルを設置し、農業と太陽光発電の共存を行うソーラーシェアリング施設の他、バイオマスの熱エネルギーを活用した温泉施設の2か所を見学しました。

今回の視察を機に、今後は柏市内でのエネルギーの地産地消についても、KKSと協力しつつ検討していきます。



02 「手賀沼花火大会」の協賛金寄付

弊社と「柏・愛らぶ基金」の協力のもと、太陽光発電の売電益を「手賀沼花火大会」の協賛金として寄付し、花火を打ち上げる地域貢献のプロジェクトを実施しております。

KKS並びに弊社が主体となり、柏市及び近隣地域内で集めた古紙の収益金を元手に、柏市内へのソーラーパネル設置を行います。そこで太陽光発電を行い、その売電益を夏に行われる「手賀沼花火大会」の協賛金として寄付することで、手賀沼花火を打ち上げ、環境意識の向上と地域貢献を目的としています。



弊社では環境教育の場として小学生を対象に『紙リサイクル教室』を開催しております。子どもたちに、身近なところからでもリサイクルに参加できること、リサイクルの楽しさを知ってもらうために古紙リサイクルという観点で環境教育を実施しております。

01 紙リサイクル教室

紙のリサイクルの過程を簡単なクイズを交えた講義で学んだ後、実際に使用済みのコピー用紙を溶かし、再生紙のポストカードを制作していただく紙漉きを体験していただくことができます。

弊社の会議室での開催から始まり、現在では外部のイベントに参加するほど規模が大きくなりました。今後は出張授業を市内各地で展開していきたいです。



02 今後の予定

今後はリサイクルだけでなく、同じ紙でも溶かさずそのままの形をいかしてリメイクするアップサイクル品など、より幅広いワークショップや教室も開催予定です。

ecoアカデミーへの参加をきっかけに、環境やモノの廃棄について、皆さんと一緒に様々な観点から考えていきたいです。



特集

環境

社会

ガバナンス

地域



工場見学の実施

01 当社へのご訪問事例

2022年11月7日(月)に、当社のInstagramアカウントでご縁のありました株式会社山本商店様が当社の柏沼南営業所に見学に来られました。山本商店様は、埼玉県八潮市を中心に産業廃棄物処理を行なわれており、SDGsや産業廃棄物以外の資源物リサイクルなど、幅広く環境貢献に取り組んでいる企業様です。

当初は「リサイクルステーション 古紙ゆたか」に興味を持っていただいたことがきっかけですが、柏沼南営業所には古紙の備蓄場もあり、そこに積み上げられた段ボールプレスを見て「すごい!圧巻!」と驚かれていました。プレスは1つ1トンもの重量があり、見学当日時点では計1,500トンございました。

その他にも、当社の古紙回収やハコメル(機密文書溶解処理)サービスだけでなく、その他SDGs関連の取り組みである「ecoアカデミー」や「サステナビリティ経営人材養成講座」についても関心を持っていただき、お互いに意見交換をさせていただきました。

02 当社からの訪問事例

その数ヶ月後、2023年1月21日に山本商店様主催のイベント『SDGs活動イベント』に招待いただき、総勢10組以上の方にecoアカデミー紙漉き教室を体験いただきました。

同じ地域の環境活動を促進していく企業同士、今後とも廃棄物リサイクルやSDGs関連の企画などを共に実現していきたいです。



ゴミゼロに向けた取り組み

社外清掃活動

柏本社では5月30日の「ゴミゼロデー」にちなんで、毎月実施している清掃活動のうち毎年5月の清掃では、本社周辺の社外清掃活動を実施しています。一見きれいな街並みでも、生垣付近や生垣の内部にゴミがあることが多く、吸い殻や使用済みのティッシュ、パンの袋、プラスチックの破片など大小さまざまなゴミが落ちているのが散見されます。

日々使っている道路を清潔に保つことで、社員の意識向上とともに、日常を支えてくれる街や地域に対して恩返しができる良い機会となっています。

また、リサイクルセンターでは、各拠点の敷地内外に紙が飛散しないような工夫や清掃活動を頻繁に行っております。周辺地域にお住まいの方や営業所に訪問いただいたお客様からお褒めの言葉をいただくことが出来ました。今後も継続的に地域に貢献できるようにしていきます。





■ 会社概要

商号	株式会社 齋藤英次商店
所在地	千葉県柏市柏6-1-1 流鉄柏ビル3F
連絡先	TEL 04-7186-6701 FAX 04-7186-6702
創業	1946年3月1日
設立	1959年11月17日
資本金	1億5,700万円
役員	代表取締役: 齋藤 大介 取締役: 齋藤 元司、森塚 伸 監査役: 齋藤 英三
従業員	134名 (2022年2月時点)
事業内容	1. 製紙原料及び製袋原料の販売 2. 和洋紙類の販売 3. 一般廃棄物再生にかかる事業 4. 産業廃棄物収集運搬 5. 一般廃棄物収集運搬 6. 一般貨物運送業 7. 前各号付帯する一切の事業 8. 袋詰め等軽作業・手作業の請負(内職業務)

■ 所属団体・組織

全国製紙原料直納商工組合 / 関東製紙原料直納商工組合 / 各市町村再生資源組合
/ 各市町村商工会議所 / NPO法人 かしわ環境ステーション (KKS)

■ 事業所一覧

本社	〒277-0005 千葉県柏市柏6-1-1 流鉄柏ビル3F
柏沼南営業所	〒277-0922 千葉県柏市大島田2丁目18-3
流山営業所	〒270-0132 千葉県流山市駒木518-2
松戸営業所	〒270-2232 千葉県松戸市和名ヶ谷954-7
船橋営業所	〒273-0047 千葉県船橋市藤原3-19-15
千葉営業所	〒264-0031 千葉県千葉市若葉区愛生町23
土気営業所	〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-1-6
北茨城営業所	〒319-1556 茨城県北茨城市中郷町日棚644-95
土浦営業所	〒300-0013 茨城県土浦市神立町3881-1
牛久営業所	〒300-1231 茨城県牛久市猪子町989-2
取手営業所	〒300-1544 茨城県取手市山王1474
柏の葉 キャンパス店	〒277-0871 千葉県柏市若柴267番地1中央182街区7
土気 緑の森店	〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-1-6 (齋藤英次商店 土気営業所内)

■ 編集後記

ここまでお読みいただきありがとうございました。
2022年度は当社のサステナビリティが飛躍した年だと思っています。
脱炭素の新サービス、SDGs・ESG推進のためのセミナー、ちばSDGsパートナー登録、
再エネによる電力調達など、様々な取り組みをしてきました。
当社の取り組みを「ステークホルダーのみなさまに知って頂きたい」、
そんな思いでこのレポートを製作しました。2023年度も是非ご期待ください。

編集長 池田直樹